

若鮎賞

2歳・芝1600m M3
7月22日（火）盛岡競馬場
昨年の優勝馬・サウザンドマイル



J R A 認定競走 岩手県畜産協会会長杯 第 26 回 若鮎賞（M3）

盛岡競馬場 2 歳・芝 1 6 0 0 m

7 月 22 日（火） 1 8 : 0 0 発走

今シーズン第一弾の2歳重賞・若鮎賞は2000年に創設。当初は2歳特別で行われていましたが、2012年から重賞へ格上げ。1着馬から3着馬には地方競馬全国交流・ジュニアグランプリ（8月19日 M1）の優先出走権が与えられます。昨年は芝走路の悪化のため芝からダート変更して実施されましたが、今年は再び盛岡芝1600mを舞台に行われます。

【注目馬情報】

★デンコウセッカ 牝2歳 櫻田浩樹きゅう舎・盛岡

盛岡芝1000mで行われた2歳新馬戦を好タイムで完勝。今年のトレーニングセール出身馬で勝ち馬第1号となりました。多くのライバルが芝未経験に対し、実際に勝っているのが強み。距離延長も血統は問題ありません。

★ポデローサ 牝2歳 伊藤和忍きゅう舎・水沢

米リーディングサイアー・イントゥミスチーフの直仔ミスチヴィアスアレックス初年度産駒で5月11日、デビュー戦を快勝。いの一番の勝ち馬になりました。以降2戦は2着でしたが、小柄な牝馬で合う可能性が大です。

★ラブコラージェン 牡2歳 菅原勲きゅう舎・水沢

今年の新馬勝ち第一号で2着に2秒4の大差をつけて圧勝。地元に戻った2戦目はテンションが上がりすぎて出遅れ。道中も折り合いを欠いて8着に終わりました。父が皐月賞馬エポカドーロなら芝で反撃十分。

★セイクリスティーナ 牝2歳 佐々木由則きゅう舎・水沢

デビュー戦の盛岡ダート1000m戦は出遅れがこたえて2着でしたが、水沢1300mの2戦目でロングスパートを決めて快勝。距離延長も味方に1秒6差で圧勝しました。芝未経験ですが、マイル延長は望むところ。

★トゥーナスタディ 牡2歳 齋藤雄一きゅう舎・盛岡

父はモリスに次ぐスクリーンヒーロー産駒ゴールドアクター。デビュー2戦目を逃げ切り、水沢2戦は4、3着に終わりましたが、地元に戻って首位を奪回しました。母父もハーツクライなら1600m延長は歓迎です。

★カクメイショヤ 牝2歳 櫻田康二きゅう舎・盛岡

デビュー戦の芝1000mはデンコウセッカに完敗でしたが、2着を確保。母ルーモスは芝2000mで2勝。芝が合うのは証明済みですし、父がサトノクラウンなら芝1600mは大歓迎のはずです。

★トゥーナガラリエ 牡2歳 齋藤雄一きゅう舎・盛岡

スタートダッシュはひと息ですが、行き脚がついてからの伸びがシャープ。水沢2戦は後方から差を詰めただけに終わりましたが、コース広い盛岡ダートで3戦2着3回。流れが速くなれば一気突き抜けるシーンまで。

★インフェルレーヴ 牡2歳 小林俊彦きゅう舎・水沢

デビュー2戦目から逃げの手に出て3、2着。一戦ごとに粘りを増しています。父がホークビル、母父ディープインパクトなら芝向きの血統。好スタートを切り、そのまま押し切る可能性もありそうです。

文 松尾 康司